

紙の博物館企画展

「白石の和紙 ～名産紙布・紙衣を中心に～」

2019 年 3 月 16 日(土)～6 月 9 日(日) 開催

白石の優れた紙・紙製品と共に「奥州白石郷土工芸研究所」の活動の一端を紹介

宮城県白石市周辺は江戸時代から和紙の産地として知られ、白石和紙は「白石三白」(和紙・温麺・葛)の一つとして白石城主・片倉家による奨励・保護のもとに発達しました。領内農民の農閑期の仕事として、地元の虎斑楮を用いて漉かれた紙は、強度と耐久性に優れており、紙布や紙衣(紙子)にも加工され、名産品として名を馳せました。白石紙布は伊達家から幕府や朝廷への献上品とされ、夏物衣料の最高級品でした。

しかし、明治期以降に洋紙が普及するのに伴い、他の産地同様に白石和紙は衰退し、昭和初期にはほとんど廃れてしまっていました。そのような中、白石の名産であった紙布を復興させるために、片倉家 15 代当主の片倉信光を所長として 1940 年に「奥州白石郷土工芸研究所」が設立されます。研究所では地元の呉服問屋であった佐藤忠太郎が中心となって白石の伝統文化の調査・研究を行い、紙布織を復活させました。研究所の一員で代々紙漉き農家であった遠藤忠雄は伝統的な和紙づくりを再興しました。また、佐藤の長男の妻である和子は紙布織を担当しました。その後、紙衣に用いる拓本染め技法の創作など、研究所関係者が一丸となって、白石和紙の復興に尽力しました。

白石の紙漉きは、遠藤忠雄亡き後は妻・まし子によって守られてきましたが 2015 年に製造を辞め、現在はその指導を受けた地元の有志により、白石和紙が受け継がれています。また拓本染めによる紙子は、佐藤紙子工房と吉見紙子工房の 2 軒が生産を続けています。

本展示では、江戸時代に発展した白石の優れた紙・紙製品を紹介すると共に、一度は衰退したその伝統を復興させ、今につなげた奥州白石郷土工芸研究所の活動の一端を、紙布・紙衣(紙子)を中心に展示します。

展示構成

1. 白石和紙の歴史と製法
2. 白石紙衣
3. 白石紙布
4. 白石和紙の復興(奥州白石郷土工芸研究所の設立と活動)

展示関連イベント

トークショー「白石紙布の復興と奥州白石郷土工芸研究所」

日時:5月18日(土) 11:00～12:20

講師:佐藤和子(元奥州白石郷土工芸研究所員紙布担当)

池田明美(紙布作家/日本工芸会会員・NHK 学園あきる野校講師)

定員:先着 50 名(10:45 より1階講堂にて受付)

費用:無料(入館料別)

その他のイベント

「浮世絵手摺り実演会」

浮世絵の手摺りの工程を最初から完成まで、通して実演します。江戸時代より伝わる職人の技をご覧ください。

日時:4月29日(月・祝)／13:30～15:00

実演:沼辺伸吉(摺師) 申込:不要(随時見学可) 費用:無料(入館料別)

「新聞紙でカブトをつくろう」

新聞紙でかんたんに折れるカブトを作ります。

日時:5月3日(金・祝) 13:30～14:00

講師:紙の博物館学芸員 申込:不要 定員:20名(当日先着順) 費用:無料(入館料別)

「季節の紙すき教室～母の日～」

母の日にちなんだすかし柄を入れた手すきのオリジナルカードをつくります。

日時:5月11日(土)・12日(日) 13:00～14:30(随時体験・作業時間はお一人10分程度)

申込:当日整理券配布(12:50～14:15)

「紙すき教室」

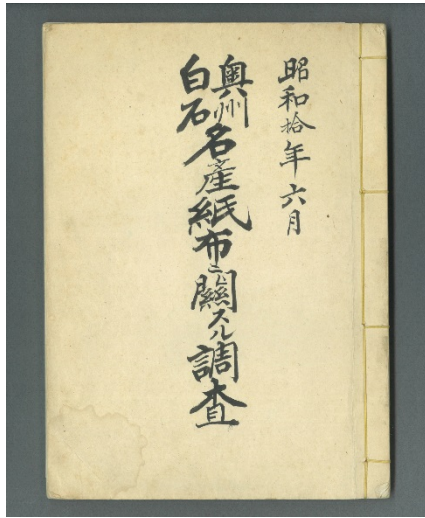
牛乳パックの再生原料から手すきのオリジナルはがき・しおりをつくります。

日時:毎週土・日曜日 13:00～14:30(随時体験・作業時間はお一人10分程度)

申込:当日整理券配布(12:50～14:15)

*各イベントの会場はいずれも1階講堂

広報用画像



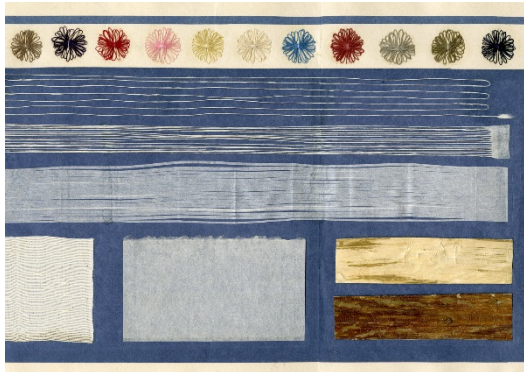
画像 1

「奥州白石名産紙布二関スル調査」報告書(1935)



画像 2

「奥州白石名産紙布二関スル調査」(1935)より



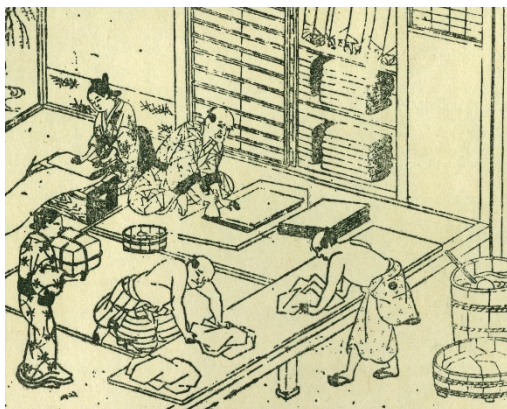
画像 3

『The handmade papers of Japan』(1952)より



画像 4

復興紙布(1941~44 頃)



画像 5

『日本山海名物図会』(宝暦 4 年)奥州仙台紙子の図



画像 6

紙衣原紙〔拓紙〕(昭和時代)

「白石の和紙 ～名産紙布・紙衣を中心に～」開催概要

1. 名 称 白石の和紙 ～名産紙布・紙衣を中心に～
2. 会 期 2019 年 3 月 16 日(土)～6 月 9 日(日)
- 3.開館時間 10:00～17:00 (入館は閉館の 30 分前まで)
- 4.休館日 月曜日(但し4/1、4/29、5/6は開館)、3/22(金)、4/30(火)、5/1(水)、5/7(火)
5. 会 場 公益財団法人 紙の博物館 4 階企画展示室
〒114-0002 東京都北区王子 1-1-3(飛鳥山公園内)
TEL:03(3916)2320 FAX:03(5907)7511 URL: <http://www.papermuseum.jp>
6. 入館料 大人 300 円(240 円)／小中高 100 円(80 円)
*()内は 20 名以上の団体料金
*身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者福祉手帳を
お持ちのご本人は無料、介助の方は半額となります。
- 7.交 通 JR 京浜東北線 王子駅南口下車 徒歩 5 分
東京メトロ南北線 西ヶ原駅下車 徒歩 7 分
東京さくらトラム(都電荒川線) 飛鳥山停留場下車 徒歩 3 分
都バス 飛鳥山停留所下車 徒歩 4 分

お問い合わせ先: 公益財団法人 紙の博物館 学芸部 小嶋昌美・平野祐子
TEL 03-3916-2320/FAX 03-5907-7511/E-mail:gakugei@papermuseum.jp

FAX 番号 03-5907-7511 E-mail: gakugei@papermuseum.jp

紙の博物館「白石の和紙～名産紙布・紙衣を中心に～」展担当宛

企画展「白石の和紙 ～名産紙布・紙衣を中心に～」 広報用画像貸出申込書

本企画展プレスリリースに掲載している画像 6 点を、広報素材としてご提供します。必要事項をご記入の上、FAX かメールでお申送ください。

* 画像は企画展の広報用としての使用に限ります。会期終了後の利用、また二次利用はお断りします。

* 画像掲載にあたっては、キャプション・クレジットを必ずご記載ください。

* 提供した画像は、必ずご利用後、速やかに消去してください。

* 基本情報の確認のため、校正を担当者(小嶋・平野)までご送付ください。

* 掲載紙・誌等は担当者(小嶋・平野)までご送付ください。

貴社名:	ご担当者名:
ご住所:〒	TEL: FAX: E-mail:
媒体名:	掲載予定日(号):
コーナー名:	貸出希望日: 月 日 時頃まで
通信欄:	

印欄	画像番号	キャプション・クレジット
<input type="checkbox"/>	1	「奥州白石名産紙布二関スル調査」報告書(1935)
<input type="checkbox"/>	2	「奥州白石名産紙布二関スル調査」(1935)より
<input type="checkbox"/>	3	『The handmade papers of Japan』(1952)より
<input type="checkbox"/>	4	復興紙布(1941～44 頃)
<input type="checkbox"/>	5	『日本山海名物図会』(宝暦 4 年)奥州仙台紙子の図
<input type="checkbox"/>	6	紙衣原紙[拓紙](昭和時代)

紙の博物館使用欄 担当

画像送付 / ・ 校正 / ・ 掲載確認 /